

標 題：

検査準備及び
保守整備の徹底の件

NKテクニカル インフォメーション

No.: 1 6 8

Date: 平成 7 年 9 月 8 日

関係船主各位

ご承知の通り、ポートステートコントロール（P S C）は、サブスタンダード船の排除を目的に全世界的に以前にも増して厳しく実施されております。

このような状況下で、本会はP S C対策として、従来より検査員に対し過不足のない検査を確実に実施するよう指導しておりますが、本会の検査を適切に行うためには、検査時の本船側の御協力が不可欠であります。又、P S Cにおいて無用の拘留等を避けるためには日常の十分な保守整備が是非必要でありますので、下記の点を十分御承知頂き適切な対応をして下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 検査準備の徹底

最近、特にアフロートでの定期的検査において、次のような理由で規則や条約により要求される検査の実施に支障をきたす例がしばしば見受けられます。

- (1) 事前の検査準備が不十分で、時間内での検査が出来ない。
- (2) 乗組員が荷役等で忙しく、協力が得られず検査が出来ない。
- (3) 荷役中又は On Deck Cargo 等で規則や条約で要求される検査が出来ない。

検査申請に当たっては、上記のような問題を生じないように検査の日程、時間を調整するよう、又乗組員に対し十分な検査準備、検査協力を行うよう御指示をお願い申し上げます。

検査の準備は、検査の実施上欠くべからざるものでありますから、本会鋼船規則 B 編第 1 章 1.4. 「検査の準備その他」の中 1.4.2. に「検査の停止」として、検査に際して必要な準備がされていないとき、立会人がいないとき又は危険性があると検査員が判断したときは、検査を停止することがあると規定されております。

検査の準備等が不十分或いは不適切で検査の停止という事態になる等のことがないように十分御注意下さい。

ClassNK

財団法人 日本海事協会

東京都千代田区紀尾井町4番7号 〒102
TEL: 03-3230-1201(代) FAX: 03-3230-3524

2. 保守整備の徹底

P S Cにおいて指摘される欠陥の多くは、船主、乗組員の船内保守整備不良或いは所定の訓練の不履行に起因しています。通常P S Cにおいて欠陥の指摘を受けますと、その港での修理が要求され出港遅れとともに、予期しない修理費用を支出せざるを得ないことになるなど、船主各位にとって大きな経済的損失を蒙ることになります

P S Cによる欠陥船の情報は、コンピュータデータベースに取り入れられ各国間のオンライン情報システムにより各国にも通報されますから、その港だけでなく世界各港で次回からのP S Cの検査が厳格になります。更に、それらのデータは統計処理され、その船主、管理会社の他の船、同一船籍国及び同一船級の他の船のP S Cにおいて検査の厳格さに影響を与えることになります。このように、一旦或る船で欠陥が指摘されますとその船の将来のP S Cの検査がより厳格になるだけでなく、他の船に対しても大きな迷惑を与えることになります。

このような現状を御認識頂き、貴社管理船の乗組員に対し、通常の保守整備の徹底と共にS O L A S（第3章、18及び19規則）で規定してあります、週毎の点検、月毎の点検、退船訓練及び消防操練等を必ず実行するよう、又入港前に必ず本船の現状を再点検するよう御指導下さい。

尚、この点検を効率的に行うために本会は、チェックリスト“Good Maintenance on Board Ships”を準備し、既に各位にお配りしております。どうぞご活用下さい。

以上